

## 令和 7 年度第 5 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

開催日時 令和 7 年 11 月 21 日（金曜日）午後 6 時 30 分～午後 8 時 20 分

開催場所 立川市女性総合センター・アイム 第 2 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槻 正則 委員  
 柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員  
 難波 敏子 委員 宮本 直樹 委員 岩元 喜代子 委員  
 杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 鈴木 峰宏  
 同 管理係長 加藤 曜子  
 同 市民交流大学係長 牧野 三枝子  
 同 管理係員 中山 琴音（記）  
 立川市広報プロモーション課 広報広聴係員 鳥野 純一

傍聴 0 名

- 次第
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 協議事項
    - (1) 令和 7 年度第 4 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
    - (2) 広報について
  4. その他
    - (1) 令和 7 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（出欠確認）
    - (2) 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について（情報共有）
    - (3) 施設予約システムについて
- 配布資料
1. 令和 7 年度第 4 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
  2. 令和 7 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催について（通知）

## 会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項
 

(1) 令和 7 年度第 4 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について  
 （会長）事務局よりご説明お願いします。  
 （事務局・管理係員）資料 1 です。事前に皆様にご確認をお願いしており、修正が 2 件ございました。審議内容に影響はございませんので、説明は割愛させていただきます。  
 本日他にご意見がございませんでしたら、ご承認いただけたということで、市ホー

ムページに公開いたします。よろしくお願ひします。

(会長) ありがとうございました。何か修正やお気づきの点ございますでしょうか。(なし) それでは、一旦承認とさせていただきます。もし、追加で修正等ありましたら、事務局にお伝えください。

## (2) 広報について

(会長) 前回の審議会に引き続き、広報について意見交換をしたいと思います。本日も広報プロモーション課の方にお越しいただき、前回の我々の質問などを受けて、補足説明をしていただけるということです。よろしくお願ひします。

(広報プロモーション課・係員) 前回、ターゲットを見据えて、有効な方法で周知することが大切とお話しさせていただいた中で、設定されているターゲットが若い方のときは、SNS が有効とお伝えした都合上、紙などが見劣りするような受け取り方をされた方もいらっしゃるのかなと思いました。決してそういうことではなく、ターゲットに対して有効であればチラシや広報紙、ポスターも大事であることを補足させていただければと思います。漫然とすべての広報媒体を使用したり、漫然と今までやっていたことを繰り返すのではなく、「誰に伝えるのか」、「それに対して有効な周知方法は何になるのか」を一度考えてから広報してほしいと府内へも周知しているところです。補足としては以上です。後は、議論の内容に応じて、何かお力になれることがあれば、ご説明させていただければと思います。

(会長) ありがとうございました。前回、ターゲットを絞り込むことが大事、それぞれの広報媒体に強みがあることを伺いました。審議会の中でも進捗評価のときに毎回広報について話題になっていたと思うので、生涯学習推進に関わることでご意見や質問があればお話ししていただければと思います。生涯学習については、きらり・たちかわ、広報たちかわ、チラシ、生涯学習推進センターの公式 X、LINE でお知らせをしていますよね。ターゲットでいうと学生、若者、働き世代、シニア世代がいますね。世代のターゲットの他に講座に参加したことのない方、関心のない方に対して、講座に参加したいと思ってもらうにはどう届けるべきかも今まで話題に上がっていたかと思います。講座やイベントの告知はしているけれど、当日どんなことをやったかは、時々きらり・たちかわで特集が組まれるくらいで、公開されていなかったと感じます。皆さんの中で、私はこういう取り組みをやっているなどあればお話ししていただければと思います。

(A委員) 外部的なメディアですが、FM たちかわや J : COM、YouTube チャンネルなどは活用できるかと思います。

(事務局・管理係長) 去年は、市民交流大学係でパネル展を行いました。以前は、地運協の皆さんにもパネルを作成していただき、市役所のフロアに展示していました。

(会長) 市民交流大学係は、定期的にパネル展をやっているのですか。

(事務局・市民交流大学係長) 定期的にはやっていません。

(B 委員) 私が課題と思っていることは、教育情報誌「たっち」の廃刊についてです。たっちは令和 7 年 6 月 10 日号で最終号となっています。たっちの最終号には、今後広報紙等に立川の教育について掲載しますと書かれておりました。新しい広報紙は、本当に見やすくなつたとは思うのですが、私達が生涯学習を推進していく上で、いかなる目的でコーディネーターが選出され、学校と地域をどのように盛り上げていくか、学校教育をどう支援していくのか、そのような施策の大もと（趣旨）の部分が広報紙で賄いきれるのか、とても懸念しています。どうしてたっちがなくなつてしまつたのかはわかりませんが、あれだけの内容のものをどこでどう補って市民に広報していくのか。学校が学校だけでは立ち行かない状況になつていて、地域を巻き込んでいくという方向で進んでいるわけですね。このことをどのように市民に広報して、支援、援助を仰いでいくのか。きらり・たちかわだけでは、不十分だと感じます。それから、先ほどパネル展の話が出ましたが、講座等の実施後の部分を知らせていくことも一つの啓発活動として大切なのではないかと思います。そうなつたときに、市役所や女性総合センターのロビーなどで、年間を通して意図的にパネル展を行うなど計画を立ててほしいなと思います。3 年 4 年と続けていくことで、初めて効果が出てくるものではないかなと思います。

(広報プロモーション課・係員) 広報たちかわに折込で入つてた教育情報誌たっちが廃刊した後、教育に関わる特集は広報紙では組まれていません。その理由は、主管課が希望しないからです。まず、折込特集と言っていたものの経緯について説明させていただきます。広報たちかわには、年 10 回程度、たっちや農業広報紙「立川育ち」など、様々な折込特集が入つてました。折込特集が入る号は、広報たちかわとしては 8 ページ分の扱いになり、真ん中の 4 ページ分に折込特集が入る構造になつてました。冊子として見ると少し変な形なんですね。4 ページまで進むと他の記事になるといついつつな構造になつてたので、9 月のリニューアルを機に、折込特集を巻き取つて、広報紙として特集を組んでいくことに決めました。たっちについても巻き取させていただき、たっちは掲載していた内容を広報紙等で取り扱つていく予定でおりましたし、我々も打診をしてますが、主管課から何も動きがない状況です。たっちは掲載されていた内容で特集を組むのはどうですかと尋ねるのですが、教育委員会の方から特にないで返ってきててしまい、情報ないため、特集が組めない状況です。たっちは廃刊になりましたが、きちんと広報紙の中で、取り扱つていく所存であります。パネル展については、すべてのパネル展を広報プロモーション課が実施しているものではないという前提ではありますが、参考になることを言わせていただくのであれば、先ほど評判の良かったパネル展があつたとのお話しがありました。どのくらいの人が見て、どういう人たちに響いたのかを特に意識して継続していくことで、良い周知ができるのではないかと思

います。パネル展を行うことで、どのような効果が出ているかを考えいただき、効果的な打ち出し方をされるのでは良いのかなと思います。

(会長) ありがとうございます。広報の効果を把握するのは、すごく難しいですよね。講座でしたら参加者にアンケートを取ることで、少しほは把握することができますが、パネル展は、その場で見ている人たちがどういう印象を受けたか、その後どう行動に移したかを把握することはなかなか難しいですよね。

(C委員) たっちはどこの部署が編集していたのですか。

(広報プロモーション課・係員) 教育総務課です。

(事務局・管理係長) 教育総務課は、学校の建物管理や教育部全体の取りまとめをしている部署のため、教育総務課自身はあまりお知らせすることがなく、今まで動きがなかったのかなと思います。たっつの代わりに広報たちかわで特集を組んでいただけるということを私達も知りませんでした。今後、教育委員会としてどのように広報紙を活用していくか、教育総務課と相談していきたいと思います。

(広報プロモーション課・係員) 広報プロモーション課としてもたっつのような特集を今後広報たちかわで組んでいくのだろうと思っていたので、ぜひ調整させていただけたらと思います。

(B委員) 何のために講座を行っているのか、何のために審議会を開催しているのか、そのようなバックボーンがなくなってしまう気がして。ぜひ、広報紙で教育について扱ってほしいと思います。

(広報プロモーション課・係員) 時々、広報たちかわで掲載されている情報がたっちにも載っていることがあったので、テーマを絞り、効果的な特集を組んでいただけたらと思います。

(C委員) 前回、情報発信は自己満足で終わってはいけないとお話がありましたが、パネル展などにも通じるのかなと思いました。やっていることがすぐにそのまま何かエビデンスとして残って、次に繋がり、効果的にということでなくても良いのではという気がしています。少し自己満足的かもしれないけれどもこういうことをやっているので、どうぞ見てくださいと。それが何かの啓発になったり、そういうものが積み重なって、市全体が活性化して、市民の皆さん元気になっていく、そういうこともあり得るのではないかなど感じました。コストパフォーマンスなど、今の考え方を完全に否定するわけではありませんが、やはり昔ながらのパネル展やポスターでお知らせすることがあつても良いと思います。再掲することで、市民の意識が向かうこともあり得るのではないかと思います。

(事務局・管理係長) 私は、パネル展が盛んな頃に学習館おりました。その時のパネル展は、当時の広報課ではなく、生涯学習推進センターで場所を押さえてやっていたものなのですが、パネル展が終わった後も学習館や女性総合センターに掲示していました。一つ作ると色々なところに持っていくので、サークル活動で学習館に来

た時に他のサークルではこういうことをやっているんだと情報共有ができていました。パネルを作るのは、大変だと思うのですが、自分たちの記録にもなりますし、みんなと共有ができるでいて、すごく良かったなという感想を持っています。かなり労力がかかるので、毎年やるのか、2年に1回なのか、計画性は必要かと思います。

(広報プロモーション課・係員) 意味のないことをすべてやめてくださいと言っているように聞こえてしまっていたら大きな間違いですので、決してそういうことではないです。パネル展もきちんと効果が出ているものと思います。その効果を考えていただくことが重要であって、パネル展は意味がなさそうだからやめた方がいいということは一切言っておりません。もう一つ言うとすると、広報以外にも目的はあると思うのです。今おっしゃっていたように、自分たちが持っているものをどう処理をして、アウトプットするのか。広報とはまた別の目的があるのであれば、それはそれとして複数の目的を持った一つの事業、一つの手段として有効な使われ方になっているのではないかと思います。そういう目的を持ってやられているのであれば、ぜひ推進していただくのが良いのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。たしか、市民交流大学の10周年など節目の年にパネルを作った気がします地連協で意見交換をしながら、最終的には学習館の職員さんがまとめてくださり、各館個性のあるパネルが完成しました。広報の意味もあったかと思いますが、取り組みを整理したり、内部の成果確認や課題確認の意味もあったかだと思います。また、利用者や市民に共有したり、あるいは参加してみたいと思ってもらえるようになど色々な意味があったかなと思います。例えば、皆さんがあなたが各学習館や市民リーダーなどでそれぞれパネルを作つて学習館利用者以外の人にも見てもらうような機会があると良いとお考えなら、そういう機会をぜひ作ってくださいと生涯審で生涯学習推進センターに提言するのもありなのかなと思いました。毎年やるのは大変だと思うので、何年かに1回と提案するのも良いのかなと。

(B委員) 以前、パネル展を行ったとき、掲示する場所の関係でパネルの大きさを指定されていました。そのような部分をきちんと明示していただき、例えば10月頃に各館の活動のパネルを展示して、その後巡回に使うなど。明確にスケジュールがでていれば、その期間に向けて、取り組むことできると思います。

(会長) ちょうど砂川学習館がリニューアルオープンするので、オープンに合わせて、砂川学習館で入れ替わりで展示をしていただくとか、デジタルサイネージで映したりもできそうですね。

(D委員) 幸学習館では、かわせみ祭のときに毎年パネルを作っています。待ち合わせのときなどにパネルを見て、こんなことをやっているんだと理解してもらえるのは助かっているかなと思います。広報については、年齢の高い方で自分で講座の申し込みができないので、娘にお願いしていますという方がいらっしゃいます。申請方法

がわからないときに学習館の職員が教えてあげますよとスマートフォンの操作方法を教えてあげることもあるようです。そのように、年齢が高い方たちに何度か教えてあげると自分でやれるようになるのかなと感じたことがあります。

(会長) 今のお話は広報もそうですが、学習相談とも関連してくると思います。その対応自体が相談でもあり、サポートしてあげることにもなるということですね。最終的には、その方がやり方を覚えて、自分でもできるようになったらお互いにとって良いと。本人も学習になるし、学習館も問い合わせが減ると。だいぶ LoGo フォームでの申し込みが増えているのですかね。

(事務局・市民交流大学係長) 先ほどお話をあった講座の申込方法の説明は、生涯学習コーナーに来ていただかなくても電話をいただければご説明していますし、講座の申し込みをしたいが、電子申請のやり方がわからないという電話がかかってきたらまず、何をご覧になっているかを確認し、この位置に二次元コードがついていると説明をしています。電話か電子申請でお申し込みくださいと書いてあるものについては、こちらから電子申請でどうですかと勧めることはできません。電子申請でと書かれている場合は、この講座は電子申請でお申し込みいただきたいのですがいかがですか、と一度問い合わせをしてみて、スマホを持っていないなどと言われた場合は、お電話で受けています。電子申請してみますと言つていただけた場合は、ご説明しております。

(会長) すでに対応してくださっているということですね。女性総合センター・アイムの 1 階にある生涯学習情報コーナーが講座などの申し込みの仕方を相談して良い場所だとわかつてもらえるとアイムに来たついでに申し込み方法も教わって、何かチラシを持って帰る、のような流れで、情報コーナーを活用する方が増えるのではないかなと思いました。

(E 委員) 前回、スポーツ振興課の体操教室の申し込みが電子申請しかなかったとお話ししさせていただきましたが、同じように電話がかかってきたらしっかりと申し込み方法を教えてあげていました。教わることで、その方の学習になるということを市役所内で共有していただき、学習のチャンスを逃さないようにしていただけたと良いなと思いました。情報誌「アイム」に関しては、以前は別紙で配布されていました。折込特集として、広報紙に挟まれていることで目にする方が増えたのかなという思いと、私のように別紙になっているものだと思っている人にとったらいつものがないわと探してしまうこともあると思います。私にとって、情報誌アイムは別紙であることが定着していたのだなと思いました。また、情報誌アイムは 12 月になると自分の中にインプットされています。例えば教育については、4 月と行事が多い 9 月と年度末に掲載されると市民に定着していくと、計画的に楽しみに待ってくれる人が増えるのではないかなという気がします。ぜひお願いしたいなと思います。

(A委員) 広報の効果測定の話なのですが、読者からのリアクションがない限り、効果の有無は、わからないはずです。社会福祉協議会のあいあい通信の編集委員やっていたときに、どれだけ読まれているか懸賞付きでアンケートを取ったところ、何百件と回答が返ってきました。生涯学習推進センターの公式 X の二次元コードを広報紙などに貼つておいて、広報紙を発行してから、一定期間で増えたフォロワー数がある程度参考にはなると思います。そのように何らかのリアクションをとる方法をご検討されてはいかがかなと思いました。

(事務局・市民交流大学係長) 講座情報の記事量にもよりますが、きらり・たちかわ春号に X の二次元コードを載せる方向で考えていきたいと思います。生涯学習推進センターの公式 X がありますというチラシを夏から秋にかけて講座で配っていました。やはりチラシを配ると少しフォロワーが増えました。チラシを配布する前はフォロワーが 130 ほどでしたが、今は 180 まで増えています。

(広報プロモーション課・係員) 生涯学習推進センターの公式 X の全ての投稿を立川市の公式 X でリポストしているので、単にフォロワーだけでなく、投稿を見られた数などで、判断されるのが良いかも知れないです。

(E委員) 立川について調べたとき、最後にこのアドバイスは役に立ちましたか、よかったですとアンケートが出てくるのですが、これは何かの役に立っているのでしょうか。

(広報プロモーション課・係員) ホームページでのそのようなアンケートは役に立っています。月々統計を出して、府内で共有し、改善すべきところは改善に向け、動いています。これを知りたかったのに掲載されていなかったなどご意見は届いております。

(A委員) 栄町支部の Instagram をフォローしたら、その場で何か差し上げますというようなインセンティブをやっています。インセンティブとして、お金をかけられない、ものをあげられないとあるかもしれません、気持ちのインセンティブなど、何があるとまたフォロワー数が増えるかもしれませんね。

(F委員) 前回の資料の中に立川市の公式 X はフォロワーが約 17,000 人、LINE の友達登録者は約 21,000 人と書いてあるのですが、人口に対してこのフォロワー数などは適正な数字なのでしょうか。

(広報プロモーション課・係員) 人口比 10% が一定効果がでている水準だと言われているようなので、一定は満たしているかなと。ただ、当然対象者数が多いに越したことはありませんので、もっと獲得を目指していくところでもありますし、他自治体ではもっとすごい割合を持っているところもあります。特にコロナのときに LINE ワクチンの受付をした自治体は、登録者が多いです。SNS の話になりますが、SNS を 1 から育てるのは、本当に大変ですよね。生涯学習推進センターの公式 X もそうですが、大きいところの手を借りないとなかなか数値として増えていかない。す

ごく難しいところで、どう広げて、どう発信して、伝えていくのかをたくさん考えてやっていかないといけないと常日頃思っております。あともう1つ、効果測定の話がありましたが、数値を取ることは難しいですが、想像も大事だと思っています。想像はエビデンスにはなりませんが、ここでこういう発信したらどういう人が受け取ってくれて、どのくらいの効果があるかは大体想像することはできるはずなんですね。データを常に集めるのは難しいので、どういうものが効果的なのだろうと想像をしながら我々はやっています。

(G委員) リニューアルした広報紙は、とても見やすくなったと思います。反面、講座などの写真を載せる範囲が減ったと感じます。講座の具体的な写真があると、参加者がかなり増えるので、ご検討いただけるとありがたいなと思います。

(広報プロモーション課・係員) これは我々も本当に頭が痛くて、挿し絵や写真をもう少し入れたいと思っているのですが、記事の量が多くて、削減を試みてもまだ記事があって。先ほど再掲の話がありましたが、再掲できないほど記事が多い状況です。記事のダイエットに取り組んでいますが、発展途上です。今のご意見も踏まえて、これからも意識して取り組みたいと思います。

(E委員) 表紙にどのような写真が載るかで、広報紙を見る意欲が変わると思います。自分に関連があることや欲しい情報などが表紙に載っていると見る気になると思います。表紙によって、目を引いて良いなと思う人と自分には関係ないと思う人にわかるかと。中にどのような内容が掲載されているのか、表紙をみただけでわかるようにしていただくのも良いのではないかと考えます。情報誌アイムは年1回の発行だからこそ、何を訴えたいのかが一目でわかるように工夫されています。そのような工夫が市報にも必要かと思います。

(会長) 本日は、広報の話をしていましたが、誰が記事を発信するのか、誰がまとめていくのかと結局人の話になっているなと思いました。負担の話ももちろんありますし、それなりにやっていることがわかっていて、尚且つ内容を取捨選択して、発信していくというのは、専門性や力量が必要になってくるので、職員さんの力量形成の話であったり、市民とどう協働していくのかという話になってくるなど。学生が卒論を書くために神奈川県大和市にある「文化創造拠点シリウス」について調べていました。講座終了後、かなり早いタイミングでこんな講座をやりましたとWeb上に更新しているんですね。同じ日に複数の講座があっても全講座、写真付きで講座の概要や参加者の様子などを更新しているのです。確かにこういうのがあると次あつたら参加してみたいなとか、関わった人たちは自分たちこんなこと頑張ったなとか、次の動機付けになったり、次に参加したい人の入口になるなと思いました。これからは予告だけではなく、やつた成果の発信や共有みたいなものがあるとサイクルが回っていくのではないかなど。きらり・たちかわを少し発展させていく形で、Web記事みたいなものを作ったりできるのかなと思つたり。目黒区の生涯学習

の会議で、参加者の裾野を広げるにはどうしたら良いかという話になったときに、学習施設ではないスーパーや銀行、駅などに手に取ったり、目につくようなものがあると良いのではないかと市民公募の委員さんたちがおっしゃっていました。学習館や図書館は、学びに関心があつたり、目的があつて来ている人たちだと思うのですが、そういう人たち以外が目につく場所に講座の案内などを置くことで参加のきっかけになれば良いなと思いました。

(C委員) 西砂学習館では、活動などの周知のために「西一元気通信」という便りを数年前から発行しています。地域の皆さんに私たちの活動などを知っていただく媒体になっていると思います。

(会長) 各地連携の委員さんや広報紙を作るのが得意な方がボランタリーに関わつてくださると、学習館の職員さんの負担も軽減されますね。

(C委員) もう少し若い方に編集などに関わつてもらうような形ができると良いなと思っています。これからの課題ですね。

(会長) 確かにそうですね。若い世代に届くような記事を作ってくださる可能性がありますもんね。

(副会長) 広報たちかわは、広報プロモーション課が編集しているのですか。

(広報プロモーション課・係員) 委託事業者と共同して行っています。

(副会長) 委託事業者に、こういう風に編集して欲しいと依頼する形ですよね。それだと今色々な要望が出ても、なかなかそれがうまく反映されないのかなと思ったのですが、いかがでしょうか。

(広報プロモーション課・係員) そんなことはないです。いただいたご意見は全部真摯に受け止めております。広報プロモーション課として課題に思っていることをご意見いただいたらしくもしていますので、改善に努めるつもりで、今後に生かしていくたいと思います。よろしくお願いします。

(副会長) 広報紙は、1枚の写真を大きく使っていますよね。先ほども話がでましたが、何か企画をする側にとって、自分たちの写真を載せて欲しいなという気持ちになるんですよ。

ただ、見栄えを考えるとある程度大きな写真が載っている方が良いという考えもあって、齟齬が起こる可能性があると思うので、それはやはり広報プロモーション課に仕切ってやってもらいたいなと思います。広報プロモーション課の意思が通じて、進んでいると考えて良いですか。

(広報プロモーション課・係員) もちろんです。記事の取捨選択をしながらよりよい紙面を作るための紙面構成について努力しているところです。引き続き見守っていただければと思います。

(F委員) 広報紙に掲載する場合、何ヶ月前に掲載依頼をするのですか。新宿区の場合、業者委託をしたところ、2ヶ月前に広報課に情報を提出しなければいけなくなり、最

新の情報はホームページに載せてくださいと、広報紙の情報の鮮度が落ちるなどという話が出ていました。

(広報プロモーション課・係員) 1.5ヶ月から2ヶ月前に記事を提出してもらっています。

誰が編集するにしても時間はかかるべきで、ある程度前に原稿をいただいて処理をしています。紙媒体はどうしても準備をして、印刷をしてっていうのがあるので。一方で電子媒体、特にホームページはかなり同時に情報をアップすることができ、検索もできます。それぞれの良さを活かしてやっていけると良いのかなと思います。

(会長) そろそろお時間となります。最後にこれを言い忘れたという方がいらっしゃれば、お話しください。(なし)

(広報プロモーション課・係員) いただいたご意見は、全て職場に伝えて、改善すべきご意見は必ず改善していきたいと思います。私が喋ったことが答えということではありませんので、皆様の考えるきっかけになっていたら良いのかなと思います。ありがとうございました。

#### 4. 協議事項

(1) 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について(出欠確認)

(会長) 事務局よりご説明お願いします。

(事務局・管理係員) 資料2です。都市社連協の交流大会・研修空きが12月13日(土)に小金井市の宮地楽器ホールで開催されます。時間は13時30分から16時15分までの予定です。事前にメールでご案内させていただいているので、すでに出欠連絡をいただいている方もいらっしゃいますが、まだの方はご参加いかがでしょうか。本日のご回答が難しい方は、11月26日(水)までにメールでご連絡いただければと思います。よろしくお願いします。

(A委員) 参加できます。

(会長) 参加できるかと思いますが、確認して連絡します。もし他に参加できる方がいらっしゃいましたら26日までに事務局にご連絡ください。

(2) 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について(情報共有)

(会長) 本日の午前中第1分科会に参加してきました。第1分科会は、「地域の教育力の再生と社会教育委員の役割」がテーマでした。長野県下諏訪町と神奈川県海老名市の事例を伺いました。長野県下諏訪町の事例は、下諏訪町にある星ヶ塔遺跡の魅力を伝えるためにはどうしたら良いか、どうやったら学習資源として使えるだろうかを社会教育委員の皆さんにお考えになっていました。最初は大学生に向けて、プレゼンテーションや見学会を行ったが、大学生は忙しくて、継続的に関わるのは難しいと言われてしまい、それは一旦諦め、紙芝居を作ろうということになったと。委員さんの中に絵が得意な方、脚本が書ける方、動画を作れる方がいたそうで、皆

さんで何度も絵や脚本を書き直して、遺跡や遺跡でとれる黒曜石について非常に学べる紙芝居を作成していました。また、委員全員で声を吹き込み、YouTubeに紙芝居をアップしていました。会場でYouTubeの動画を見せてもらったのですが、面白かったです。社会教育委員さんが地元の資源を使って、学習材料を作られたと。委員さんたちも学びながら、アウトプットするようなものを作られたと非常に温かみのあるお話しでした。発表自体も委員さん6人全員で少しづつ発表するというスタイルで、一体感がありました。神奈川県海老名市は、社会教育計画の話でした。子供にかなり焦点を絞って、社会教育計画を作られており、戦略的になのかもしけませんが、社会教育委員の会長さんと副会長さんが2人ともPTA出身の方なのです。そういうこともあって、子供に向けた活動を通して大人も育つみたいなコンセプトがありました。各団体さんが色々な体験の場を作って、そこに親子で参加してもらう「えびなっ子ふれあいフェスタ」と団体や団体を支援している方などが参加し、テーマに沿って意見交換をする「えびなっ子いききシンポジウム」の二つの大きなイベントを社会教育委員さんが主体で企画しているようです。これらに参加する団体への声かけも委員さんたちが持っているネットワークでお声がけして引っ張ってきてやっているようです。下諏訪町、海老名市どちらの事例も社会教育委員さんたちが主体となって企画、運営されており、非常に参考になりました。また、近くの席の方と意見交換する時間があり、長野県の松川村の方とお話をしました。来年は群馬県で開催予定ですので、興味がある方はご参加いただければと思います。

### (3)施設予約システムについて

(会長) 事務局よりご説明お願ひいたします。

(事務局・管理係長) 令和8年1月5日から施設予約システムがリニューアルいたします。

立川市のホームページの中でも施設予約システムは上位を争う検索数となっておりますので、しっかりと広報していきたいと思い、動画を作成し、立川市動画チャンネルに載せてもらうことになりました。新規の利用者登録について、使用料の支払い方法について、予約方法について、抽選予約方法についての4本載せております。本日はこちらの動画を委員の皆様にご覧いただければと思います。(動画視聴)動画だけではなく、マニュアルの作成、チラシの配布も行っています。現在学習館では利用者向けに説明会を行っております、多くの方が参加してくださっていると聞いています。シルバーさんの研修も行っております。

新システムは、備品予約のシステム化やキャッシュレス決済の導入など事前に来館しなくて良いような仕掛けになっております。システムが変わることで混乱する方もいらっしゃるかと思いますので周知はしっかりとさせていただければと考えています。何かご不明点ござりますでしょうか。

(A委員) 新しいシステムは、視覚障害の方などに対応した読み上げ機能はあるのでしょうか。

(事務局・管理係長) 確認します。

(A委員) YouTubeにアップしている動画にBGMが流れているのは良いのですが、視覚障害の方には伝わらないと思うので、ナレーションを入れた方がよかつたのではないかでしょうか。生涯学習推進計画の中に「公平で柔軟な施設利用の推進」とありますが、その辺りが担保されているのかどうか、動画を初めて見たときに思いました。

(事務局・管理係長) 動画を作った最大の目的は、利用者端末の横にDVDプレイヤーを置いて、動画を見ながら操作ができるようにするためです。そのため、基本的に音を出さないという仕立てで考えておりまして、最終的にはせっかく作るなら、Youtubeにも載せようということになりました。

(会長) 大事なご指摘ですね。改善が可能であれば、YouTube用にナレーション付きの動画を作成していただくこともご検討いただければと思います。

(E委員) パスワードは現行システムのものから変更しないといけないのでしょうか。

(事務局・管理係長) パスワードは、現行システムから引き継げないため、仮パスワードとして「t+現行システムに登録している連絡先電話番号」を設定しています。

(事務局・センター長) 登録している電話番号がわからない場合は、各学習館へお問い合わせいただければと思います。

(会長) その他、何かありますでしょうか。

(事務局・センター長) 砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設について、工事期限を10月31日としておりましたが、電気設備工事の関係で、令和8年1月30日まで工期を延伸させていただくことになりました。工期延伸に伴い、開館日も後ろ倒しになります。開館日が決定しましたら皆様にお伝えできればと思っております。ご不便おかけして申し訳ございません。我々も1日でも早く開館できるよう努めていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(A委員) コミュニティスペースをシステム予約できるようにしていただきたいというのが、本当に切なる要望です。

(事務局・センター長) コミュニティスペースは、市民協働課が所管になります。将来的にシステムでの予約ができるようになるかもしれません。

(F委員) 本日、東京都主催の地域学校協働活動推進フォーラムに参加してきました。前三位鷹市長の清原さんのご講演や地域学校コーディネーター向けの研修を行ったり、地域がどのように子供たちを育していくかなどを考えるきっかけになったので、本当にとても良い研修でした。ぜひ立川市の地域コーディネーターの方にも参加していただけると良いのではないかと思い、報告させていただきました。

(D委員) 幸学習館で、12月6日(土)にかわせみカフェ、1月17日(土)に防災講座を開催するので、ぜひご参加ください。

(A委員) 11月30日(日)にたかまつりを開催します。お手伝いの学生さんたちも多数いらっしゃり、当日は盛り上げていただけるということですので、ぜひご参加いただければと思います。

(会長) 12月7日(日)にプレ錦まつりを開催します。6つの企画を用意しておりますので、ぜひご参加ください。

(G委員) 12月21日(日)にたましんRISURUホールでたちかわワークショップフェスタ2025を開催します。お時間ありましたらご参加いただければと思います。

(事務局・管理係長) 第13期生涯学習推進審議会の市民公募委員の募集について、12月10日号の広報たちかわに掲載します。1月13日(火)締め切りで募集をさせていただきます。

(会長) 他にありますでしょうか。(なし) それでは、第5回生涯学習推進審議会を閉会します。次回は1月9日(金)女性総合センター・アイム5階の第2学習室で行います。ありがとうございました。